

「コンタクト」(1997)という映画があります。異星人に招かれ、「ワームホール」(異なる次元を繋ぐ連絡路)を通してこと座のベガの惑星系まで一瞬で旅行するという内容です。主演女優のジョディ・フォスターは、映画「タクシードライバー」(1976)で、子役としてロバート・デ・ニーロと共演しています。ベガは太陽系から比較的近い恒星の一つです。それでも距離は25光年もあり、何らかの方法でベガの異星人と通信できたとしても、「もしもし、こちら地球人です」…「はい、こちらベガ人です」という会話ができるのに、実に50年もかかります。もちろん、現在の宇宙航法では、人類が行きつくことは不可能です。

ベガは教科書にも載っています。「デネブ」「アルタイル」と並んで「夏の大三角」の恒星の一つとして、夏休みの宿題でもよく登場する星でしょう。七夕では「織姫星」としても有名で、天の川を挟んで、アルタイル(彦星)と向かい合っています。伝説では、織姫と彦星は七夕の晩だけに出会えることになっています。しかし、ベガは七夕でも夏でなくても観望できます。比較的天の北極(北極星の近く)に近い位置にあるので、時間帯を無視すれば、実は日本では一年中見える恒星なのです。

12月中旬になっても、ベガが西の空に沈むのは午後8時過ぎです。今の時期は暗くなるのも早いので、午後6時ぐらいから2時間も観望できます。双眼鏡を使って、この「冬の織姫」の美しい青白い姿を観望してみてください。(2024年12月中旬/文京区・お茶の水女子大学構内/Seestarで撮影)

